

2009(平成21)年度 第25期事業報告書

自 2009(平成21)年4月
至 2010(平成22)年3月

財団法人 日中医学協会

目 次

事業報告の部

I. 研究助成事業	
A. 日中笹川医学奨学金制度	
1. 第31期研究者受け入れ事業	1
2. 第32期研究者受け入れ事業	1
3. 第32期研究者の選抜・来日前実施事業	2
4. 第33期研究者の選抜・来日前実施事業	2
5. 関係機関との協議及び運営委員会の開催	3
6. その他の事業	4
7. 笹川医学奨学金進修生同学会(同窓会)に対する協力	4
8. 日中笹川医学奨学金制度在日研究者連絡会に対する協力	6
B. 共同研究等助成事業	
1. 2009年度助成金受給者	7
2. 委員会の開催	8
3. 2010年度助成金受給者募集	9
C. 清華大学玉泉病院てんかんセンター派遣医師受け入れ事業	9
II. 学術会議開催	
A. 主催事業	
1. 日中医学交流会議	10
B. 共催・後援事業	
1. 第1回中日エイズ国際シンポジウム	10
2. 医学生のための漢方医学セミナー	10
3. 二国間交流事業による公開セミナー	10
4. 2009日中歯科学学生交流事業	10
5. 第1回日中韓伝統医学大会	11
6. 認知症市民公開講座	11
III. 日中医療保健協力	
1. 中国医療機関への専門家派遣事業	11
2. 日中大腸癌治療研究会に対する協力	11
3. 医療関連訪日団に対する協力	11
4. 伝統医学交流訪中団・会員訪中団の派遣	12
IV. 広報事業	
1. 機関誌「日中医学」の発行	13
2. 懸賞作文の募集	13
3. 「NEWS LETTER」の発行	13
4. ホームページの拡充	13
5. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力	13
6. 委員会の開催	13

総務報告の部

I. 役員を選任について	
A. 理事の選任	14
B. 監事の選任	15
C. 役員を選任について	15
D. 常任理事の選任	15
E. 評議員の選出	15
II. 会員拡大と募金活動について	
A. 会員数の推移	16
B. 募金活動	
1. 年末寄付金・その他の寄付金	16
III. 協会運営に係る事項	
A. 理事会・評議員会の開催	17
B. 常任理事会の開催	17
C. 公益法人改革への対応について	18
D. 事業計画・財務委員会の開催	18
E. 各運営委員の委嘱	19
F. 日本財団の補助金について	20
資 料	
日中笹川医学奨学金制度第32期研究者名簿	21
監査報告書	22

事業報告の部

I. 研究助成事業

A. 日中笹川医学奨学金制度

2007年8月26日、日本財団笹川陽平会長と中国衛生部蔣作君副部長により「日中笹川医学奨学金制度協定書」が調印された。これは「笹川医学奨学金」の第3次制度ともいうべきもので、5年間に150名の中国医学研究者を招請する。本制度の運営は、中国側は中国衛生部国際交流センターが担当し、日本側は日中医学協会、笹川記念保健協力財団が担当することとなった。

2009年度は、前年度に来日した本制度第31期研究者、2009年9月に来日した第32期研究者の受け入れ及び2010年度来日予定の第33期研究者の選抜を行った。

1. 第31期研究者受け入れ事業

(1)来日

2008年9月16日(火) 30名来日

(2)研究報告会

開催日：2009年8月28日(金) 10:00～16:45

場 所：日本財団ビル 大会議室A

出席者：役員・委員・指導責任者等 67名
第31期研究者 30名

内 容：平田理事を座長に、第31期研究者30名が1年間の研究成果を発表した。

(3)研究修了式・歓送会

開催日：2009年8月28日(金)

修了式 17:00～17:40

歓送会 17:45～19:00

場 所：日本財団ビル 大会議室A・食堂

出席者：役員・委員・指導責任者等 67名
第31期研究者 30名

内 容：程普選中国大使館一等書記官、笹川陽平日本財団会長のご臨席の下、森亘会長か

ら研究者に研究修了証が授与された。歓送会では、指導責任者、来賓らを交えて和やかに懇談した。

(4)帰国

帰国日：2009年8月29日(土)

第31期研究者30名は、研究者自身の手配で各地の空港から離日、帰国した。

2. 第32期研究者受け入れ事業

(1)来日

2009年9月8日(火) 30名来日(名簿後掲)

(2)歓迎式典・歓迎レセプション

開催日：2009年9月9日(水)

歓迎式典 17:00～18:10

歓迎レセプション 18:20～19:30

場 所：東京ガーデンパレス

内 容：式典には、指導責任者、来賓、関係役員等126名が出席した。式典では、大使と医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会の各代表者(含む代理出席)が祝辞を述べられた。なお、式典に先立ち、事務局による研究者へのオリエンテーションを実施した。歓迎レセプションは140名が出席した。江田五月参議院議長が祝辞を述べられた。

(3)研究開始

2009年9月10日(木)、研究者は各自研究先へ移動し、11日(金)から研究を開始した。

(4)第22回箱根セミナーの開催

開催日：2009年11月27日(金)～29日(日)

場 所：ホテル箱根アカデミー

内 容：笹川陽平日本財団会長の講演の後、「より良い研究生活を送るために」をテーマに役員と研究者がディスカッションを行った。セミナー終了後は、初冬の箱根を

散策し、英気を養った。

(5)外国医師・外国歯科医師臨床修練資格取得

第31期研究者及び第32期研究者で外国医師・外国歯科医師臨床修練資格を取得した者(2010年3月31日現在)。

・第31期研究者

2009年1月23日許可 3名

高 朋 芬 医師 東北大学医学部附属病院
鞠 海星 医師 愛知県がんセンター中央病院
白 玉 娣 歯科医師 東京歯科大学千葉病院

2009年3月4日許可 1名

左 建林 医師 東北大学医学部附属病院

2009年4月7日許可 2名

梁 静 医師 東京医科大学病院
孫 威 医師 九州大学病院

・第32期研究者

2009年12月22日許可 2名

劉 巍 医師 東邦大学医療センター大森病院
方 楽 医師 九州大学病院

2010年2月4日許可 2名

崔 冠宇 医師 慶應義塾大学病院
黄 晨昱 医師 日本医科大学付属病院

3. 第32期研究者の選抜・来日前実施事業

(1)日中合同面接試験

実施日：2009年4月2日(木)～3日(金)

場 所：衛生部国際交流センター会議室

概 要：第32期生候補者40名に対する面接試験を、日中双方3名ずつの面接官により実施した。面接は日本語或いは英語により行った。終了後、面接官による評価が行われ、研究者30名、補欠5名を内定した。なお、事務局から比留間聡事務局長、末原珠生担当職員が同行した。

面接官：

日本側面接官：

田平 武 日中笹川医学奨学金運営委員会副委員長、
順天堂大学大学院認知症・予防・治療学教授

根本則道 日中笹川医学奨学金運営委員会委員、
日本大学医学部病理学主任教授

高松 研 日中笹川医学奨学金運営委員会委員、
東邦大学医学部生理学教授

中国側面接官：

于 修成 衛生部科技教育司副司長

烏 正賚 協和医科大学公共衛生学院教授

潘 伯臣 中国医科大学附属盛京医院婦産科教授

(2)訪日前オリエンテーション

実施日：2009年7月16日(木) 13:30～16:00

開催地：衛生部中国医科大学語学研修センター
(遼寧省瀋陽市)

備 考：本制度では、研究者に対し3か月間の来日前語学研修の受講を義務付けている。協会には比留間聡事務局長を派遣してオリエンテーションを実施し、奨学金制度の仕組み、日本で注意すべき事柄を説明するとともに、研究者からの質問に答え、日本での研究ができるだけスムーズに開始できるようにした。

4. 第33期研究者の選抜・来日前実施事業

(1)第33期研究者の募集

期 間：2009年10月20日(火)～12月25日(金)

概 要：衛生部国際交流センター、協会、同学会の各ホームページに募集要項を掲載した。また、協会から研究者OBに対し優秀な若手医師に応募を促進するよう通知した。

(2)日中合同面接試験

実施日：2010年3月1日(月)～2日(火)

場 所：衛生部国際交流センター会議室

概 要：第33期生候補者40名に対する面接試験を、日中双方3名ずつの面接官により実施した。面接は日本語或いは英語により行った。終了後、面接官による評価が行われ、研究者30名、補欠5名を内定した。なお、事務局から末原珠生・華海艶両担

当職員が同行した。

面接官：

日本側面接官：

橋本敬太郎 日中笹川医学奨学金運営委員会委員長、
横浜薬科大学教授

高松 研 日中笹川医学奨学金運営委員会委員、
東邦大学医学部生理学教授

星合 晃 日中笹川医学奨学金運営委員会委員、
近畿大学医学部産婦人科学教授

中国側面接官：

于 修成 衛生部科技教育司副司長

烏 正賚 協和医科大学公共衛生学院教授

潘 伯臣 中国医科大学附属盛京医院婦産科教授

程、運営方法について協議・決定した。

また、研究者の日本語能力、研究者の選抜等について意見交換した。

(2)第4回日中笹川医学奨学金運営委員会

開催日：2009年4月6日(月) 18:00～19:30

場 所：学士会館

出席者：委員13名、担当常任理事2名
事務局2名

概 要：2009年4月2日～3日に中国で実施した面接試験の結果及び面接試験前に実施した書類審査の結果に基づき、第32期研究者30名、補欠5名を決定した。

5. 関係機関との協議及び運営委員会の開催

(1)三者会議

開催日：2009年10月16日(金) 15:00～16:30

場 所：日本財団会議室

出席者：

衛生部

王 立基 国際合作司副司長

衛生部国際交流センター

田 民 副主任

周 簡 民間連絡一部部長

于 修成 日中笹川医学奨学金制度審査専門委員会委員長

戴 維 民間連絡一部職員

日中医学協会

森岡恭彦 副会長

安達 勇 理事長

橋本敬太郎 常任理事
(日中笹川医学奨学金運営委員会委員長)

比留間聡 事務局長

末原珠生 日中笹川医学奨学金制度担当職員

華 海艶 日中笹川医学奨学金制度担当職員

笹川記念保健協力財団

紀伊國献三 理事長

松本源二 事務局長

槇 洽子 日中医学奨学制度室長

八百板喜美 総務課職員

概 要：第33期研究者の募集及び招請に関する日

(3)第5回日中笹川医学奨学金運営委員会

開催日：2009年10月2日(金) 18:30～20:00

場 所：学士会館

出席者：委員9名、担当常任理事1名
オブザーバー1名、事務局2名

概 要：2009年10月16日に開催する三者会議に先立ち、同会議で協議する第33期研究者の募集要項、日程等について協議を行った。

(4)第6回日中笹川医学奨学金運営委員会

開催日：2010年3月5日(金) 18:30～20:30

場 所：東京ガーデンパレス

出席者：委員10名、担当常任理事1名
事務局3名

概 要：先に中国で実施した面接試験の結果及び面接試験前に実施した書類審査の結果に基づき、第33期研究者30名、補欠5名を決定した。

(5)その他

・次期奨学金制度検討のためのワーキンググループ
設置について

開催日：2010年2月2日(火)

場 所：協会事務所

出席者：安達理事長、橋本委員長、田平副委員長
事務局2名

概要：現在実施している日中笹川医学奨学金制度が2013年に終了することから、次期奨学金制度について検討するため、ワーキンググループを設置することを決定した。

・衛生部国際交流センターとの事務レベル協議

開催日：2009年7月14日(火) 09:00～10:50

場所：衛生部国際交流センター会議室

出席者：

衛生部国際交流センター

周 簡 民間連絡一部部長

戴 維 民間連絡一部(兼通訳)

日中医学協会

比留間聡 事務局長

概要：9月に来日する第32期研究者の利用航空機、三者会議の開催時期などについて協議を行った。席上、中国側から第33期研究者から募集開始時期や面接試験等の日程を1か月程度繰り上げたいとの提案があり、日本側でも協議することとなった。

6. その他の事業

・衛生部訪日団来日

期間：2009年10月14日(水)～17日(土)

概要：三者会議への出席及び9月に来日した第32期研究者の研究状況視察のため来日した。滞在期間中、笹川陽平日本財団会長を表敬し、東京歯科大学、日本医科大学を訪問した。

団名簿：王 立基 国際合作司副司長

田 民 衛生部国際交流センター副主任

周 簡 同 民間連絡一部部長

于 修成 同 日中笹川医学奨学金制度
審査専門委員会委員長

戴 維 同 民間連絡一部職員

7. 笹川医学奨学金進修生同学会(同窓会)に

対する協力

(1)学術交流会の開催

開催日：2010年1月16日(土) 08:30～17:00

場所：昆明佳華広場酒店(雲南省昆明市)

テーマ：外科的治療(がん治療を中心)及び基礎医学

概要：会議には178名が出席し、日本からも特別講演者を含む41名が出席した。特別講演の後、12名の研究者が研究成果を発表、討論も活発に行われ、充実した学術交流会となった。

特別講演：

林 謙治 国立保健医療科学院院長

『Health Policy towards Aging Society』

李 永国 湖南旺旺医院院長(1期生)

『No Clinical Ethics, No Appropriate Practice』

同学会報告

王 尉 中国人民解放軍

広州軍区総医院泌尿外科講師(30期生)

『The novel tumor-suppressor Mel-18 in prostate cancer: its functional polymorphism expression, and clinical significance』

周 雲 蘇州大学附属兒童医院泌尿外科教授(20期生)

『Peritubular Capillary Injury in Rat with Experimental Obstructive Hydronephrosis』

李 培軍 天津市胸科医院心臓外科ICU教授(21期生)

『Effect of pericardial suction blood re-transfusion in off-pump CAB on inflammatory cytokines, myocardial injury and lung function』

任 迎春 河北医科大学第三医院胸外科副教授(26期生)

『Single-direction thoracoscopic lobectomy for treatment of early stage lung cancer』

張 偉 中国人民解放軍第二軍医大学

附属長征医院微創外科副教授(30期生)

『Breast approach endoscopic thyroidectomy offers Not only better cosmetic outcome but also minimally invasive effect』

秦 建輝 北京東直門医院血管外科副教授(25期生)

『The retrospection and current situation of vascular surgery in China』

欧 周羅 復旦大学附属腫瘍医院

乳腺癌研究所副教授(11期生)

『Lethal effect on breast cancer cells by methyl-beta-cyclodextran with high concentration』

張麗蓉 天津医科大学基礎医学院副院長(15期生)

『Antagonistic Effects and Molecular Mechanism of Berberine on Chlamydia pneumoniae Induced-Vascular Endothelial Cell Migration』

趙曉曦 内蒙古医学院附属医院婦産科教授(22期生)

『子宮頸管粘液中の胎児細胞を用いた胎児染色体の異常診断』

周成斌 広東省人民医院広東省心血管病研究所
心血管外科副教授(30期生)

『Cyclosporine A postconditioning on the mitochondrial function against myocardial ischemia and reperfusion injury in young rabbits』

王安輝 中国人民解放军第四軍医科大学
予防医学系流行病教研室副教授(30期生)

『The evaluation of the health and epidemic prevention status in Qiaozhuang town Qingchuan County after 5.12 earthquakes in Sichuan Province』

李天成 国立感染症研究所ウイルス二部主任研究官(11期生)

『日中笹川医学奨学金制度在日研究者連絡会の活動紹介』

懸賞作文入賞者授与式：

協会が2009年3月に研究者OBを対象に行った『私にとっての日中笹川医学奨学金制度』懸賞作文の入賞者授与式を学術交流会開会式で行った。河野信博広報委員会委員長より賞状と副賞が授与された。

(2)ボランティア診療の実施

実施日：2009年8月12日(水)～15日(土)

場所：遼寧省朝陽市喀喇沁左翼蒙古族自治区

概要：趙群中国医科大学学長・同学会理事長を中心に中国医科大学に在籍するOBを中心に実施した。なお、同団には協会評議員の池田裕氏、事務局の太田晶子職員が

参加した。

(3)同学会役員との懇談

開催日：2010年1月16日(土) 20:00～21:30

場所：昆明佳華広場酒店(雲南省昆明市)

出席者：

同学会

趙群	理事長・10期
王甲東	副理事長・1期
孫乃学	副理事長・2期
戴豪良	副理事長・3期
李忠金	秘書長・12期
許順	副秘書長・15期
劉愛民	常務理事・8期
張軍	常務理事・11期
孫偉	常務理事・18期
馬迎華	常務理事・23期
裴海成	理事・6期
韓晶岩	理事・9期
張軍	理事・21期
万毅剛	理事・26期
孫貴範	前理事長・1期

日中医学協会協会

安達勇	理事長
橋本敬太郎	常任理事
比留間聡	事務局長
岡田光子	職員

日本財団

依田弘美	公益ボランティア支援グループ 福祉チームチームリーダー
浅倉麻衣子	公益ボランティア支援グループ 福祉チーム

笹川記念保健協力財団

松本源二	事務局長
槇洽子	日中医学奨学制度室室長
八百板喜美	総務課職員

懇談内容：

同学会から提案のあった以下の内容について懇談した。また、奨学金制度の将来についても意見交換を行った。

- 1) 2010年度ボランティア診療を西北地区の貧困地区で実施したいこと。
- 2) 「看護分会」設けたいこと。
- 3) 2010年度学術交流会を、10月中旬から11月中旬の間に「華北地区」で開催したいこと。

(4)その他

・監査の実施

実施日：2009年7月13日(月)～14日(火)

場 所：同学会事務所(北京市)

実施者：比留間聡 事務局長
上野恵子 経理担当職員

概 要：同学会が2008年度に実施した事業に対する監査を実施し、併せて経理処理の具体的事項について指導を行った。

・2010年度活動計画についての協議

実施日：2009年7月15日(水)

場 所：中国医科大学趙群校長執務室

出席者：

同学会

趙 群 理事長

李 忠金 秘書長

許 順 副秘書長

日中医学協会

比留間聡 事務局長

議 題：2010年度事業計画について協議を行った。同学会より、トラベルグラント、四川大学での貧困地区在住医師に対する研修等いくつかの新規事業について提案があった。

8. 日中笹川医学奨学金制度在日研究者連絡会に
対する協力

(1)第2回在日笹川研究者セミナー

開催日：2009年12月19日(土) 15:00～17:30

場 所：日本財団ビル会議室

概 要：日本で活躍する同会会員4名が日頃の研究成果を発表した。セミナーには同会会

員、来賓、第32期研究者ら46名が出席し、討論も活発に行われ、充実したセミナーとなった。

講演者：

袁 世華 杏林中医薬情報研究所所長(2期生)

『不老長寿の薬を探す』

阿倉英実 光華株式会社代表取締役社長(9期生)

『胆癌患者の早期治療評価のための新しい指標～堀口医院、吉林大学共同研究実施報告～』

張 亨 理化学研究所特任研究員(10期生)

『Biological Function of Glycoprotein Megalin』

馬 峰 東京大学医科学研究所特任研究員(8期生)

『Regenerative Medicine Based on Human Pluripotent Stem Cells』

(2)関西支部の設立

2009年8月1日(土)、関西地区に在住するOBが懇談会を開催し、同日付で日中笹川医学奨学金制度在日研究者連絡会の関西支部を設立した。同会における地方支部はこれが最初である。

支部長には、18期生の蔡偉華氏が選ばれ、今後、研究者間の情報の共有と交流の推進、関西地区で研究する本制度奨学金研究者への支援や研究関連情報の提供等を柱に活動を進める。

なお、同懇談会には末原珠生担当職員が同席した。

(3)第32期研究者との座談会

開催日：2009年11月28日(土) 19:30～21:00

場 所：ホテル箱根アカデミー

概 要：第32期研究者との懇談会を開催、同研究者が抱えている問題についての的確なアドバイスをを行った。特に研究者からは、日本人とのつきあい方、日本語の学習方法、研究の進め方等について質問が多かった。

(4)笹連会忘年会開催

開催日：2009年12月19日(土) 18:00～20:30

場 所：番屋赤坂店

概 要：第2回在日笹川研究者セミナーの後、笹連会役員、関係団体役員、第32期研究者ら37名が出席した。

(5)笹連会関西支部新年会(春節party)開催

開催日：2010年1月24日(日) 15:00～22:00

場 所：上海潤東生物科技(兵庫県神戸市)

概 要：笹連会関西支部主催の新年会を開催し、会員3名の他に関西近郊に在住する第32期研究者4名が出席した。

(6)その他

- ・在日笹川生連絡会役員との打ち合わせ
開催日：2009年6月6日(土) 15:00～18:00
場 所：日中医学協会事務所
議 題：2009年度活動内容について
- ・在日笹川生連絡会役員との打ち合わせ
開催日：2009年11月24日(土) 19:00～21:00
場 所：セントラルホテル東京
議 題：今後の活動について
- ・在日笹川生連絡会役員との打ち合わせ
開催日：2009年12月19日(土) 13:00～14:00
場 所：セントラルホテル東京
議 題：第2回学術交流セミナー事前打ち合わせ
- ・在日笹川生連絡会役員との打ち合わせ
開催日：2010年3月16日(火) 18:30～21:30
場 所：セントラルホテル東京
議 題：2009年度総会事前打ち合わせ

B. 共同研究等助成事業

1996年度以降、本事業は日本財団の助成金を受けて実施。2009年度は63件の応募申請の中から、共同研究等助成事業委員会の選考により4区分26件に助成した。

1. 2009年度助成金受給者

(1)調査共同研究助成

①ヒト感染性マラリア原虫中国流行地株の分子疫学

申 請 者：金子 修 長崎大学熱帯医学研究所
共同研究者：曹 雅明 中国医科大学基礎医学院

②広東省における環境水調査によるポリオウイルス検出法の研究

申 請 者：吉田 弘 国立感染症研究所
共同研究者：鄭 煥英 広東省疾病予防控制中心

③終末期がん患者の苦痛症状に対する鍼治療の有効性に関する研究

申 請 者：大坂 巖 静岡県立静岡がんセンター
共同研究者：王 健 遼寧中薬薬大学付属病院

④中国漢民族におけるCIDEA遺伝子多型と肥満との相関に関する研究

申 請 者：村松正明 東京医科歯科大学
難治疾患研究所
共同研究者：張 玲 首都医科大学
衛生管理と教育学院

⑤神経因性疼痛における一酸化窒素の分子病態：カリウム受容キナーゼの調節機構

申 請 者：渡邊泰男 昭和薬科大学
共同研究者：宋 涛 中国医科大学付属第一医院

⑥スナネズミモデルにおけるグリチルリチン酸のH. pylori感染胃発癌への予防効果

申 請 者：塚本徹哉 藤田保健衛生大学医学
共同研究者：曹 雪源 吉林大学第一病院

⑦アスベスト(石綿)曝露による健康障害に関する日中共同研究

申 請 者：井内康輝 広島大学大学院
医歯薬学総合研究科
共同研究者：張 幸 浙江省医学科学院

⑧肺炎球菌ワクチンに対する免疫応答性の日中間における比較に関する研究

申 請 者：川上和義 東北大学大学院医学系研究科
共同研究者：張 天托 中山大学

⑨iPS細胞を利用した先天性骨髄不全症候群の病態解析と治療法の開発

申 請 者：馬 峰 東京大学
共同研究者：竺 曉凡 中国医学科学院血液学研究所

⑩単球選択的ナノDDS技術を基盤とする急性心筋梗塞症(不安定化プラークの破綻による血栓形成)

申 請 者：江頭健輔 九州大学大学院医学研究院

共同研究者：趙 鋼 上海交通大学
附属第六人民医院

⑪脊椎損傷の治療のための損傷後の中枢神経系における神経再生に関する研究

申請者：川野 仁 東京都神経科学総合研究所
共同研究者：李 洪鵬 中国医科大学医学部医学科

⑫神経変性疾患治療薬のトランスレーショナルリサーチの基盤形成

申請者：福永浩司 東北大学大学院薬学研究科
共同研究者：韓 峰 浙江大学薬学部

⑬先進的スクリーニング技術を導入したウイルス性肝炎に対する新規治療薬の開発

申請者：許 煥麗 東京大学大学院医学系研究科
共同研究者：杜 冠華 中国医学科学院・
中国協和医科大学

⑭四川大地震被災住民のリハビリテーション看護に関するニーズに応じた看護現任教育プログラムの開発

申請者：酒井郁子 千葉大学大学院看護学研究科
共同研究者：胡 秀英 四川大学華西医院

(2)中国人研究者・医療技術者招聘助成

①シスラプチン誘発急性腎不全の抵抗性獲得におけるNF κ B活性化の役割の検討

招聘者：菱田 明 浜松医科大学
被招聘者：羅 景慧 南方医科大学附属南方病院

②中国四川省における囊虫症流行に関する免疫・分子疫学研究

招聘者：中尾 稔 旭川医科大学
被招聘者：李 調英 四川省CDC・寄生虫病研究所

(3)在留中国人研究者研究助成

①Nav1.6をコードする遺伝子欠損マウスを用いた平滑筋型電位依存性 Na⁺チャネルの生理学的役割の解明

受給者：朱 海雷 九州大学大学院医学研究院
指導者：寺本憲功 講師

②新しく見つけた血管平滑筋収縮制御の解析

受給者：王 洪輝 群馬大学大学院医学系研究科
指導者：小濱一弘 教授

③アルツハイマー病動物モデルを用いたsilibininの薬効評価

受給者：路 平 名城大学
指導者：鍋島俊隆 教授

④高塩分摂取による腎線維化の進行における腎組織受容体随伴プロレニン系と尿細管レニン発現

受給者：黄 岩杰 浜松医科大学大学院
指導者：菱田 明 教授

⑤宿主由来HGFによる変異型EGFR陽性肺癌のゲフィチニブ耐性機構解析とその克服

受給者：王 瑋 金沢大学がん研究所
指導者：矢野聖二 教授

⑥臍島の長期保存及び皮下移植におけるpolyvinyl alcohol (PVA) マクロカプセル化臍島の応用

受給者：漆 智 京都大学再生医科学研究所
指導者：角昭一郎 准教授

⑦前立腺がんの造骨性骨転移のメカニズム解明

受給者：王 麗楊 大阪大学大学院歯学研究科
指導者：米田俊之 研究科長・教授

(4)トラベルグラント

①第32回日本呼吸器内視鏡学会学術集会

申請者：森山紀之 国立がんセンター中央病院

②仙台中西医学研究会

申請者：武田 卓 東北大学大学院医学系研究科

③中医診断学日中フォーラム

申請者：戴 昭宇 東京有明医療大学保健医療学部

2. 委員会の開催

(1)第1回共同研究等助成事業委員会

日時：2009年6月29日(火) 16:00~18:15

場所：日本財団ビル2階会議室

出席者：委員長含む委員5名(委任状出席14名)

担当常任理事1名、事務局3名

議題：2008年度助成事業報告会

2009年度助成事業中間報告

2010年度募集要項制定その他

(2)第2回共同研究等助成事業委員会

日 時：2010年2月23日(火) 18:30～20:00

2010年2月4日(木) 帰国

場 所：コンファレンススクエア M+

出席者：委員長含む9名(委任状出席10名)

担当常任理事1名、事務局2名

議 題：2009年度助成事業中間報告

2010年度助成金受給者の選定について

(2)第2回派遣医師

氏 名：石 岩芳 (女)

所 属：清華大学玉泉病院外科 医師

研修機関：静岡てんかん・神経医療センター

指 導 者：馬場好一 脳神経外科

入国・帰国：2010年1月28日(木) 入国

2010年4月28日(水) 帰国

3. 2010年度助成金受給者募集

(1)募集区分・件数 (「()」内は応募件数)

①調査・共同研究助成 10～15件(48件)

②中国人研究者・技術者招聘助成 1～5件(8件)

③在留中国人研究者助成 5～10件(31件)

④トラベルグラント 1～5件(5件)

(2)募集期間

2009年11月1日(日)～12月31日(木)

(3)募集媒体

機関誌「日中医学」、 「NEWS LETTER」、ホームページ、関係学会ホームページ

C. 清華大学玉泉病院てんかんセンター派遣医師受け入れ事業

清華大学玉泉病院(清華大学第二附属病院)と協会は、同院てんかんセンター研究者の人材育成、両国の医学・医療分野の交流の促進及び両国国民の健康と福祉の向上、相互理解を深めることを目的とする「研究者育成プロジェクト」を設立し、2009年から2012年の3年間に毎年2名を招請することとなった。

なお、この事業は清華大学玉泉病院の助成金で実施する。

(1)第1回派遣医師

氏 名：林 久壺 (男)

所 属：清華大学玉泉病院外科 医師

研修機関：静岡てんかん・神経医療センター

指 導 者：馬場好一 脳神経外科

入国・帰国：2009年11月4日(水) 入国

II. 学術会議開催

A. 主催事業

1. 日中医学交流会議

テーマ：「環境と健康

－環境因子と疾病の変遷－」

日時：2009年10月7日(水) 13:00～18:00

会場：日本医師会館 小講堂

主催：日中医学協会、日本医師会

後援：厚生労働省、中華医学会、中華人民共和国駐日本国大使館、中日医学科技交流協会、日本アレルギー学会、日本公衆衛生学会、日本皮膚科学会

参加者：シンポジウム100名、懇親会70名

プログラム

挨拶 森 亘 日中医学協会会長
唐澤祥人 日本医師会会長
韓 暁明 中華医学会副秘書長
難波吉雄 厚生労働省健康局疾病対策課長

基調講演 座長 小川秀興 順天堂大学理事長
「環境化学物質と子どもの健康－特に胎児期曝露の次世代影響」

岸 玲子 北海道大学医学部公衆衛生学分野教授

講演Ⅰ 座長 飯沼雅朗 日本医師会常任理事
「環境因子がアレルギー患者に与える影響－花粉症と中国北方地域における季節性アレルギー性喘息－」

尹 佳 北京協和医院アレルギー科教授

講演Ⅱ 座長 山本一彦 東京大学医学部教授
「環境因子とアレルギー性皮膚炎－特にアトピー性皮膚炎を中心に」

奥村 康 順天堂大学アトピー疾患研究センター長

講演Ⅲ 座長 尹 佳 北京協和医院アレルギー科教授
「中国の小児疾病の変遷－喘息とアレルギー疾病を中心に」

趙 京 首都児科研究所教授

パネルディスカッション

懇親会(会場：談話室)

B. 共催・後援事業

1. 第1回中日エイズ国際シンポジウム

開催日：2009年4月14日(火)

開催地：中国科学院武漢ウイルス研究所

(湖北省武漢市)

テーマ：「HIV/AIDS治療の現状－薬剤耐性問題への対応－」

主催：NPO法人在日中国人医師協会、中国科学院武漢ウイルス研究所、日本学術振興会

後援：中華人民共和国駐日本国大使館科学技術処

賛助：日本抗加齢センター(株)

協力：日中医学協会、国立感染症研究所、留日中国人生命科学協会

参加者：150名

2. 医学生のための漢方医学セミナー

開催日：2009年8月4日(火)～9日(日)

開催地：ウエルネス・イン鈴鹿路(三重県三重郡)

主催：小太郎漢方製薬株式会社

後援：日中医学協会、日本TCM研究所、天津中医学院

参加者：26名

3. 二国間交流事業による公開セミナー

開催日：2009年8月5日(水)

開催地：大妻女子大学千代田キャンパス

(東京都千代田区)

テーマ：日本と中国における大気汚染とその健康影響

主催：兵庫医科大学(日本学術振興会と中国国家自然科学基金委員会との二国間交流事業により実施)

後援：日中医学協会

参加者：70名

4. 2009日中歯科学生交流事業

開催日：2009年8月13日(木)～21日(金)

開催地：東京都、千葉市、横須賀市

主 催：日中歯科学会
共 催：東京歯科大学国際医療研究会、神奈川県
科大学国際医療研究会、東京医科歯科大
学中国学友会
後 援：日中医学協会、外務省、在日本国中華人
民共和国大使館、日本歯科医学会、国際
交流基金、日本学生支援機構
備 考：新型インフルエンザの影響により中国側
学生の訪日が困難となり、中止となった。

5. 第1回日中韓伝統医学大会

開催日：2009年10月25日(日)
開催地：昭和薬科大学(東京都町田市)
主 催：日本臨床中医薬学会、中国中医薬国際合
作中心、慶熙大学薬科大学校
共 催：日中医学協会
参加者：33名

6. 認知症市民公開講座

認知症国際フォーラムー漢方と鍼灸による予防と治療ー
開催日：2009年10月30日(土)
開催地：川崎市総合福祉センター(エポックなかいはら)
(神奈川県川崎市)
主 催：日本医科大学老人病研究所、川崎市、老
人病研究会、(文部科学省社会連携研究
推進事業)
後 援：日中医学協会、中国大使館、朝日新聞社、
日本認知症学会他46団体
参加者：約900名

Ⅲ. 日中医療保健協力

1. 中国医療機関への専門家派遣事業

中国の地域医療を担う基幹病院へ、必要とする
専門家を派遣し、レベルの向上、医学交流の促進
を目的とした事業。2009年度は、3名の専門家を
派遣した。

(1) 中日友好病院

・ 貞廣 荘太郎 東海大学消化器外科学教授
テーマ：直腸癌の新しい補助治療
期 間：2009年10月12日(月)～15日(木)
備 考：大鵬薬品工業㈱の協賛により実施し
た。

・ 峰松 一夫 国立循環器病センター脳血管内科部長
テーマ：日本における急性卒中の診断と治療
期 間：2009年10月21日(水)～24日(土)

(2) 中国医科大学附属第四病院

・ 五十嵐 康己 北海道社会保険病院心臓内科部長
テーマ：Basic approach for CTO-PCI
期 間：2009年10月21日(水)～24日(土)

2. 日中大腸癌治療研究会に対する協力

本事業は元来2008年度で終了予定であったが、
研究成果をまとめるため、2009年度も事業を行う
こととなった。

3. 医療関連訪日団に対する協力

日中両国の医療関係者の交流を促進するため、
2009年度は、8つの訪日団を招聘し、病院視察等
の手配を行った。

(1) 中国衛生部及び中国医学装備協会代表団

期 間：2009年4月13日(月)～18日(土)
団構成：朱 慶生 中国医学装備協会理事長他5名
訪問先：静岡県立静岡がんセンター

(2) 病院管理及び臨床薬学セミナー

期 間：2009年7月4日(土)～8日(水)
団構成：程 齊波 北京軍区総医院院長他17名
訪問先：北海道大学病院

備考：7月7日にセミナーを開催した。

(3)心臓血管外科訪日団

日時：2009年8月31日(月)

団構成：劉永民 北京安貞病院主任医師他10名

訪問先：三井記念病院

(4)日中医学交流会議訪日団

日時：2009年10月7日(水)

団構成：鄒長征 中日医学科技交流協会秘書長他11名

訪問先：順天堂大学医学部附属順天堂医院

(5)丹東市第一病院訪日団

期間：2009年11月9日(月)～11月15日(日)

団構成：劉堯銑 遼寧省丹東市第一病院院長他7名

参観先：国立がんセンター、静岡県立がんセンター、
兵庫県立粒子線医療センター

(6)医療管理訪日団

期間：2009年11月22日(日)～11月28日(土)

団構成：趙長福 北華大学附属医院副院長他6名

参観先：杏林大学医学部付属病院、癌研有明病院

(7)北京腫瘍医院訪日団

日時：2009年11月30日(月)

団構成：韓晶岩 北京大学基礎医学院中西医结合学教授

参観先：国立がんセンター、静岡がんセンター他

(8)清華大学学生訪日団

期間：2010年1月24日(日)～31日(日)

団構成：謝莉萍 清華大学生命科学部副教授他15名

参観先：東京大学医科学研究所、慶應義塾大学医学部、東京大学医学部、昭和薬科大学、
癌研有明病院、東京有明医療大学、テルモ(株)プラネックス、アステラス製薬研究所、静岡がんセンター

団」及び「会員訪中団」を実施した。

(1)伝統医学交流訪中団

目的：中国における中医学の診断治療の実際－
認知症の予防と治療を中心として－

期間：2009年8月5日(水)～8月9日(日)

団構成：酒谷薫常任理事ら全11名

参観先：天津新内田製薬、北京中医薬大学、中日友好病院、北京同仁堂

備考：期間中、「認知症の予防と治療」をテーマに北京、天津でセミナーを開催した。

(2)協会会員訪中団

目的：中国の地方都市における医療の現状の視察と同学会学術交流会への出席。

期間：2010年1月13日(水)～1月17日(日)

団構成：林謙治評議員、安達勇理事長ら全17名

参観先：増城市人民医院、中山大学附属第二医院、清平医薬中心、昆明医学院

4. 伝統医学交流訪中団・会員訪中団の派遣

2009年、協会は過去実施している役員訪中団を除いて協会初となる企画訪中団「伝統医学交流訪中

IV. 広報事業

1. 機関誌「日中医学」の発行

機関誌「日中医学」第24巻1～6号を以下の通り発行した。

第1号(2009年5月)

特集「日中歯科麻酔の現状」

第2号(2009年7月)

特集「日中笹川医学奨学金制度20年」

第3号(2009年9月)

特集「中国の医療保険制度」

第4号(2009年11月)

特集「日中における血液製剤の現状」

第5号(2010年1月)

特集「日中における医師の偏在について－診療科と地域性－」

第6号(2010年3月)

特集「中国の看護と介護」

2. 懸賞作文の募集

『日中医学』第24巻第2号「特集・日中笹川医学奨学金制度20年」の企画の一環として、日中笹川医学奨学金制度修了者を対象に、懸賞作文の募集を行った。募集の結果、50編の応募があり、広報委員会委員からなる審査会において優秀作品3編を選び、『日中医学』第24巻第2号に掲載した。また、2009年1月16日に雲南省昆明市で開催された笹川医学奨学金進修生同学会学術交流会において表彰式を行い、河野委員長より受賞者3名に賞状と副賞(5万円)が授与された。

なお、協会ホームページ(中国語)に、全応募作品を掲載した。

・懸賞作文

テーマ：私にとっての日中笹川医学奨学金制度

募集期間：2009年3月中旬～5月10日

募集対象：日中笹川医学奨学金制度修了者

(第1期生～第30期生)

・優秀賞受賞者

孫 貴範 中国医科大学公共衛生学院教授(第1期生)

李 天成 日本国立感染症研究所主任研究官(第11期生)

銭 玉秀 暨南大学附属第一医院主管護師(第20期生)

3. 「NEWS LETTER」の発行

2003年から協会の活動を幅広く、わかりやすく紹介するため機関紙「NEWS LETTER」を発行している。今年度は、No.18～No.20を発行した。

No.18(2009年4月発行)

記事「第48回理事会・評議員会」他

No.19(2009年9月発行)

記事「中国伝統医学ツアーの試み」他

No.20(2009年11月発行)

記事「2009年日中医学交流会議を終えて」他

4. ホームページの拡充

協会ブログ(日本財団CANPAN)を掲載し、日々の活動の紹介した。

<http://blog.canpan.info/jpcnma/>

5. 「International Chinese Journal of Dentistry」

への協力

季刊誌「International Chinese Journal of Dentistry」Volume9 Issue2～Volume10 Issue1の発行について支援団体(Sponsoring Organization)として協力した。

6. 委員会の開催

a. 第1回広報委員会

日時：2009年6月2日(火) 18:30～20:30

場所：学士会館310号室

出席者：委員長他委員10名

議題：

・「日中医学」23巻6号、24巻1号、「NEWS LETTER」No.18の発行報告

・「日中医学」24巻2号～6号の掲載記事につ

いて

- ・「日中医学」24巻2号の懸賞作文優秀賞の表彰について
- ・投稿原稿の審査他

b. 第2回広報委員会

日時：2009年10月20日(火) 18:30～20:30

場所：日中医学協会事務所

出席者：委員長他委員9名、担当常任理事1名

議題：

- ・「日中医学」24巻2号、「NEWS LETTER」No.19の発行報告
- ・「日中医学」25巻の特集テーマ、連載について
- ・次期広報委員会委員について

c. 第3回広報委員会

日時：2010年2月16日(火) 18:30～20:00

場所：学会館309号室

出席者：委員長他委員10名、担当常任理事2名

議題：

- ・「日中医学」24巻3号、「NEWS LETTER」No.20の発行報告
- ・「日中医学」25巻の発行回数および特集テーマの変更について
- ・2010年度広報事業費、広告掲載申し込みについて

総務報告の部

I. 役員の選任について

A. 理事の選任

寄附行為第17条及び第19条に基づき、理事を選任。

1. 2009年5月29日第49回評議員会に於いて理事を選任。

・就任 3名

大坪文雄 社団法人電子情報技術産業協会会長

佐藤義雄 社団法人生命保険協会会長

西田厚聰 社団法人日本電機工業会会長

・辞任 3名

庄山悦彦 社団法人電子情報技術産業協会会長

中山 眞 社団法人日本電機工業会会長

松尾憲治 社団法人生命保険協会会長

2. 2010年3月26日第50回評議員会に於いて、任期満了に伴う理事の選任。

任期：2010年4月1日～2012年3月31日

・再任 28名

安達 勇、池谷田鶴子、今井一洋、牛尾恭輔、

江藤一洋、大久保満男、大柳治正、小川秀興、

荻原幸夫、加我君孝、児玉 孝、小林秀資、

酒谷 薫、篠崎英夫、高久史磨、高倉公朋、

橋本敬太郎、花岡一雄、久常節子、久道 茂、

日比紀文、平岡眞寛、平田 温、丸野政雄、

武藤徹一郎、森 亘、森岡恭彦、森田 清、

・就任 3名

大槻勝紀 大阪医科大学生命科学解剖学教授

木村政之 日本製薬団体連合会理事長

近藤達也 医薬品医療機器総合機構理事長

・退任 10名

岩砂和雄 社団法人日本医師会副会長

大坪文雄 社団法人電子情報技術産業協会会長

唐澤祥三 社団法人日本医師会会長

菊池晴彦 神戸市立医療センター中央市民病院理事長

齋藤洋一 大阪府済生会中津医療福祉センター総長

佐藤義雄 社団法人生命保険協会会長
讚井暢子 社団法人日本経済団体連合会常務理事
西田厚聰 社団法人日本電機工業会会長
宗岡正二 社団法人日本鉄鋼連盟会長
森 詳介 電気事業連合会会長

橋本敬太郎 横浜薬科大学教授
日比紀文 慶應義塾大学医学部教授
平岡眞寛 京都大学医学部教授

B. 監事の選任

寄附行為第17条及び第19条に基づき、監事を選任。

1. 2010年3月26日第50回評議員会に於いて、任期満了に伴う監事の選任。

任期：2010年4月1日～2012年3月31日

・再任 2名

金井 浄、杉本恒明、

・退任

齋藤 洋 東京大学名誉教授

C. 役員の選任について

2010年3月26日第50回理事会に於いて、寄附行為第17条及び第19条に基づき、会長・副会長・理事長を選任。

任期：2010年4月1日～2012年3月31日

就任：会長 森 亘 理事

副会長 荻原幸夫 理事

森岡恭彦 理事

理事長 安達 勇 理事

D. 常任理事の選任

2010年3月26日第50回理事会に於いて、寄附行為第17条及び第19条に基づき、常任理事を選任。

任期：2010年4月1日～2012年3月31日

就任：江藤一洋 日本歯科医学会会長

大柳治正 近大姫路大学副理事長

小川秀興 順天堂大学理事長

加我君孝 東京医療センター臨床研究センター長

酒谷 薫 日本大学医学部教授

篠崎英夫 国立保健医療科学院名誉院長

E. 評議員の選出

寄附行為第34条及び第19条に基づき評議員を選出。

1. 2010年3月26日第50回理事会に於いて、任期満了に伴う評議員を選出。

任期：2010年4月1日～2012年3月31日

・再任 97名

朝倉 均、阿部 裕、天野 曄、荒木孝二、伊賀立二、池田 裕、石館光三、市川和孝、井出吉信、糸賀 敬、糸川秀治、稲葉 裕、猪熊茂子、今泉英明、井廻道夫、江里口彰、大田洋二郎、緒方 剛、小川 彰、尾崎由基男、小田泰子、小田島肅夫、影井 昇、笠原正貴、加藤四郎、加藤抱一、金原秀雄、河野信博、韓 晶岩、北 潔、北中 進、北村唯一、木村光孝、栗原英見、黒川 顕、黒崎紀正、黒田嘉和、五島瑳智子、古谷野 潔、済木育夫、齊藤大三、酒井シヅ、桜井芳明、佐々木一之、佐藤田鶴子、佐藤信紘、澤 宏紀、清水 浩、清水正嗣、下村克朗、正山征洋、鈴木磨郎、住友雅人、住吉金次郎、諏訪文彦、田上順次、田口鐵男、武田隆男、田中雅夫、谷美智士、田平 武、土山秀夫、杜 子威、永池京子、名川弘一、鍋谷欣市、西沢良記、花輪壽彦、早石 修、林 謙治、日暮 眞、福生吉裕、古川俊之、方 一如、前田隆秀、前田健康、町田幸雄、松井比呂美、松村英雄、丸山 茂、御子柴克彦、水野 昇、箕田健生、宮田 侑、村上恵一、室賀昭三、望月清志、山口 巖、山口 建、山田陽城、山中宣昭、山本昌弘、家森幸男、姚 建、吉倉 廣、李 天成、渡邊裕司、

・就任 3名

加藤久豊 社団法人日本画像医療システム工業会会長

常光謙輔 済生会西条病院名誉院長兼センター長

伯井俊明 社団法人大阪府医師会長

・退任 13名

石井裕正 慶應義塾大学名誉教授
 石井正三 社団法人日本医師会常任理事
 稲福 繁 愛知医科大学学長
 嶋下重彦 財団法人小児医学研究振興財団理事長
 木下勝之 社団法人日本医師会常任理事
 高橋美智 株式会社日本看護協会出版会取締役副社長
 竹田忠紘 慶應義塾大学薬学部名誉教授
 塚原 勇 関西医科大学理事長
 本庶 佑 京都大学大学院医学研究科客員教授
 前原忠行 順天堂大学医学部特任教授
 山西弘一 医薬基盤研究所理事長
 横山榮二 元国立公衆衛生院院長
 和賀井敏夫 順天堂大学名誉教授

II. 会員拡大と募金活動について

A. 会員数の推移

	09年3月 末現在	2009年度 入退会	10年3月 末現在
個人 会員	488名	入会63名 退会37名	514名
法人 会員	59社	入会13社 退会11社	61社
特別 会員	3社	入会0社 退会0社	3社

B. 募金活動

1. 年末寄付金・その他の寄付金

2009年度の年末寄付金及びその他頂戴した寄付金は以下の通り。

多くの法人・個人にご協力戴いた寄付金は、当協会が実施した助成事業、日中医学交流会議、広報事業等に充当した。

a. 団体・法人 23法人

アステラス製薬(株)、エーザイ(株)、科研製薬(株)、協和発酵キリン(株)、クラシエ薬品(株)、興和(株)、(株)システム環境研究所、(株)資生堂、資生堂(中国)研究開発中心有限公司、第一三共(株)、大正富山薬品(株)、大日本住友製薬(株)、大鵬薬品工業(株)、中外製薬(株)、(株)ツムラ、(株)トミー精工、(社)日本医師会、日本臓器製薬(株)、ノバルティスファーマ(株)、マルホ(株)、(株)ミノファーゲン製薬、(株)ヤクルト本社、ヤンセンファーマ(株)

b. 個人 51名

安達 勇、荒木孝二、池田 裕、池谷田鶴子、石館光三、糸川秀治、稲葉 裕、今井一洋、今泉英明、江藤一洋、緒方 剛、小川秀興、荻原幸夫、加我君孝、加藤四郎、金井 浄、金原秀雄、河野信博、北村唯一、木村光孝、五島瑳智子、齋藤洋一、佐藤信紘、篠崎英夫、下村克朗、杉本恒明、諏訪文彦、高倉公朋、

高橋美智、田口鐵男、田平 武、塚原 勇、
土山秀夫、杜 子威、中島 章、橋本敬太郎、
花岡一雄、林 謙治、日暮 眞、平岡眞寛、
方 一如、町田幸雄、松村英雄、水野 昇、
武藤徹一郎、森 亘、森岡恭彦、森田 清、
山中宣昭、家森幸男、吉倉 廣

Ⅲ. 協会運営に係る事項

A. 理事会・評議員会の開催

1. 第49回評議員会

日 時：2009年5月29日(金) 16:00～17:30
場 所：銀座アスターお茶の水賓館
出席者：18名(委任出席72名)
議 題：理事選任の件

2. 第49回理事会

日 時：2009年5月29日(金) 16:00～17:30
場 所：銀座アスターお茶の水賓館
出席者：6名(委任出席38名)
議 題：2008年度事業報告の件
2008年度決算報告の件
日本財団助成金申請の件

4. 第50回評議員会

日 時：2010年3月26日(金) 15:00～16:20
場 所：東京ガーデンパレス高千穂A
出席者：14名(委任出席73名)
議 題：理事監事選任の件
公益法人改革への対応等について

5. 第50回理事会

日 時：2010年3月26日(金) 15:00～16:20
場 所：東京ガーデンパレス高千穂A
出席者：9名(委任出席27名)
議 題：2010年度事業計画の件
2010年度収支予算の件
評議員選出の件
役員人事の件
運営委員会委員委嘱の件
公益法人改革への対応等について

B. 常任理事会の開催

1. 第214回常任理事会

日 時：2009年5月8日(金) 17:00～19:00

場 所：日中医学協会事務所
出席者：理事長他 6 名
議 題：理事会・評議員会議題案について他

日 時：2010年 1 月21日(火) 17:00～19:00

場 所：日中医学協会事務所
出席者：森会長他 4 名

議 題：1) 公益法人改革の概略

2) 協会の目指す方向

3) 今後の日程案

4) 最初の評議員の選任方法案

2. 第215回常任理事会

日 時：2009年 7 月28日(火) 17:00～19:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：理事長他 8 名

議 題：2010年度日中医学交流会議開催テーマ他

2. 第 2 回委員会

日 時：2010年 2 月25日(木) 17:00～19:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：森会長他 4 名

議 題：1) 最初の評議員選定委員会設置・運営規則(案)

2) 最初の評議員選定委員会委員についての概略

3. 第216回常任理事会

日 時：2009年 9 月 3 日(木) 15:00～17:00

場 所：日中医学協会事務所

出席者：理事長他 8 名

議 題：日本財団への助成金申請について他

4. 第217回常任理事会

日 時：2009年12月 9 日(水) 16:00～18:00

場 所：学士会館307号室

出席者：理事長他12名、金井監事

議 題：次期奨学金制度ワーキンググループ設置について他

(2)常任理事会における審議・決定

2010年 2 月26日(金)開催の第218回常任理事会は、公益法人改革について検討する準備委員会における審議結果に基づき、協会は「公益財団法人」を目指して準備することを決定し、第50回理事会・評議員会において諮ることを決定した。

5. 第218回常任理事会

日 時：2010年 2 月26日(金) 16:00～18:00

場 所：東京ガーデンパレス鶴の間

出席者：理事長他11名

議 題：2010年度事業計画、予算について他

(3)第50回理事会・評議員会における議決

2010年 3 月26日(金)開催の第50回理事会・評議員会は、公益法人改革に対する協会の対応方針について協議を行い、協会は「公益財団法人」を目指すこと、最初の評議員は最初の評議員選定委員会において選ぶことを審議・決定した。

C. 公益法人改革への対応について

(1)公益法人改革について検討する準備委員会

第210回常任理事会の決定に基づき常任理事会内に「公益法人改革について検討する準備委員会」を設置した。

委員は、森亘会長、安達勇理事長、岩砂和雄常任理事、篠崎英夫常任理事、金井浄監事の 5 名とした。

1. 第 1 回委員会

D. 事業計画・財務委員会の開催

1. 第 3 回事業計画・財務委員会

日 時：2009年12月 1 日(火) 17:30～19:30

場 所：日中医学協会事務所

出席者：酒谷委員長他 9 名

議 題：2010年度収支予算案及び財務状況の改善について

2010年度事業計画案について

委員会委員について

E. 各運営委員の委嘱

寄附行為第33条及び運営委員会規程第3条、第4条に基づき各運営委員を委嘱。

2010年3月26日第50回理事会は、任期満了に伴い事業計画財務委員会、共同研究助成事業委員会、広報委員会及び日中笹川医学奨学金運営委員会の各委員を委嘱した。

1. 事業計画財務委員会委員の委嘱

a. 委員：

委員長：

酒谷 薫 日本大学医学部教授

委員：

緒方 剛 茨城県筑西保健所所長

韓 晶岩 遼寧中医薬大学日本中医薬学院院長

林 謙治 国立保健医療科学院院長

山中宣昭 東京腎臓研究所所長

田上順次 東京医科歯科大学大学院歯学部長

正山征洋 長崎国際大学薬学部教授

永池京子 (株)日本看護協会常任理事

金井 淨 公認会計士

顧問：

出月康夫 東京大学名誉教授

b. 任期：2010年4月1日～2012年3月31日

2. 共同研究等助成事業委員会委員の委嘱

a. 委員：

委員長：

武藤徹一郎 (財)癌研究会有明病院メディカルディレクター・名誉院長

委員：

跡見 裕 杏林大学医学部長

荒木孝二 日本歯科医学会常任理事

五十嵐正広 (財)癌研究会有明病院部長

岩本愛吉 東京大学医学部研究所先端医療研究センター教授

金井 Pak 雅子 東京有明医療大学看護学科長

佐藤田鶴子 日本歯科医学会常任理事

杉山 清 星薬科大学教授

菅村和夫 宮城県立がんセンター総長

高本眞一 社会福祉法人三井記念病院院長

御子柴克彦 理化学研究所脳科学総合研究センターグループディレクター

渡邊治雄 国立感染症研究所副所長

渡辺純夫 順天堂大学大学院医学研究科教授

渡邊善照 昭和薬科大学教授

b. 任期：2010年4月1日～2012年3月31日

3. 広報委員会委員の委嘱

a. 委員：

委員長：

稲葉 裕 実践女子大学生生活科学部教授

委員：

緒方 剛 茨城県筑西保健所所長

笠原正貴 東京歯科大学歯科麻酔学講師

範 江林 山梨大学大学院医学工学総合研究部分子病理学教授

丸 義朗 東京女子医科大学薬理学教授

矢富 裕 東京大学医学部附属病院検査部部長

山田陽城 北里大学北里生命科学研究所所長

輪湖史子 (株)日本看護協会国際部長

b. 任期：2010年4月1日～2012年3月31日

4. 日中笹川医学奨学金運営委員会委員の委嘱

a. 委員：

委員長：

橋本敬太郎 横浜薬科大学教授

委員：

岩本安彦 東京女子医科大学糖尿病センターセンター長

金井 Pak 雅子 東京有明医療大学看護学科長

塩野元美 日本大学教授

田上順次 東京医科歯科大学大学院歯学部長

高橋和久 順天堂大学主任教授

高松 研 東邦大学教授

田平 武 順天堂大学教授

名川弘一 東京大学教授

根本則道 日本大学主任教授

星合 昊 近畿大学主任教授

松木則夫 東京大学教授

森山紀之 国立がんセンターがん予防・検診研究センターセンター長

b. 任期：2010年4月1日～2012年3月31日

F. 日本財団の補助金について

2010年3月8日付で2010年度助成金申請に対する審査結果が以下の通りあった。

①共同研究等助成金に対する助成

助成金額 15,000,000円

②日中笹川医学奨学金制度第33期研究者受入に対する助成

助成金額 145,600,000円

③基盤整備事業

助成金額 35,000,000円

日中笹川医学奨学金制度第3 2期研究者名簿 (2009年9月～2010年8月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
畢 愛笑	同济大学附属上海市肺科医院結核基礎実験室研究実習員	北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター国際疫学部門	鈴木定彦 教授
	研究テーマ 1) LAMP法を用いた結核菌迅速検出法、2) 遺伝子変異検出による結核迅速薬剤感受性試験		
謝 勉	広州医学院第一附属医院腫瘍内科主治医師 骨髄由来間葉系幹細胞を用いた癌治療	東北大学大学院医学系研究科呼吸器病態学分野	貫和敏博 教授
孫 芳	中国人民解放军南京军区南京总医院神経内科主治医師 The function of mirror neuron system(MNS) in language processing	理化学研究所脳科学総合研究センター生物言語研究チーム	岡ノ谷一夫 チームリーダー
杜 岩	中国人民解放军总医院口腔医学中心牙周病科主治医師 エムドゲインを用いた歯周再生の生理学的機構の解明	東京歯科大学臨床検査学研究室	井上 孝 主任教授
趙 茵	华中科技大学同济医学院附属协和医院産科主治医師 母児間相互作用におけるPten/pI3k経路の働きの解明	東京大学大学院医学系研究科産科婦人科学(生殖内分泌学)	大須賀穰 講師
林 穎	中国人民解放军第四军医大学第一附属医院耳鼻咽喉頭頸外科主治医師 老人性難聴の発症機序に関する研究	東京大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学	山嵜達也 教授
盛 復庚	中国人民解放军軍事医学科学院附属医院放射科主治医師 Research of small animal MR imaging and molecular imaging	東京大学医学研究所附属病院放射線科	井上優介 准教授
高 緒仁	徐州医学院附属医院骨科住院医師 滑膜細胞の損傷組織に対する遊走能の検討	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科運動器外科学	宗田 大 教授
侯 曉玫	首都医科大学附属北京口腔医院医師 NiTiファイルを用いた効果的な根管拡大法	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯髄生物学	須田英明 教授
仇 玲玲	首都医科大学附属北京口腔医院正歯科医師 インプラントアンカーを用いた歯科矯正治療の研究	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面矯正学	森山啓司 教授
史 潔	清華大学玉泉医院神経内科主治医師 光脳機能イメージング法及び術中脳機能モニタリング法に関する研究	日本大学医学部脳神経外科学	酒谷 薫 教授
王 佐岩	北京世紀壇医院心血管内科主治医師 1) 冠動脈内画像診断法による病因の究明、2) 新しい再生医療法の臨床応用	日本医科大学内科学第一	水野杏一 主任教授
黄 晨昱	煤炭総院醫啓顎裂中心整形外科主治医師 幹細胞を用いた皮膚潰瘍治療における癒痕抑制メカニズムの解明	日本医科大学形成外科学	百束比古 教授
陳 竹	安徽省立医院風湿免疫科主治医師 膠原病の自己抗体に関する研究	慶應義塾大学医学部内科学リウマチ研究室	桑名正隆 准教授
崔 冠宇	北京積水潭医院脊柱外科住院医師 側弯症に関する臨床的研究	慶應義塾大学医学部整形外科	松本守雄 准教授
周 和平	中国人民解放军第四军医大学第一附属医院心血管外科主治医師 抗酸化ストレス因子Nrf2の心臓病における役割	慶應義塾大学医学部再生医学	福田恵一 教授
厲 倩	上海市第一人民医院宝山分院検診科検診師 がん免疫応答の解明と免疫療法の開発	慶應義塾大学医学部先端医学研究所細胞情報研究部門	河上 裕 教授
劉 巍	首都医科大学附属北京安貞医院心肺血管搶救中心主治医師 慢性完全閉塞病変に対する薬物溶出ステント留置の臨床成績	東邦大学医療センター大森病院心血管インターベンション室	我妻賢司 室長
魏 慎海	清華大学第一附属医院胸外科主治医師 肺がんの外科治療と集学的治療	国立がんセンター中央病院第一領域外来部気道縦隔科	浅村尚生 医長
王 佳楠	国家食品薬品监督管理局薬品認証管理中心検査一処主管薬師 非臨床研究技術及びGLP調査システムについて	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター病理部	西川秋佳 部長
方 苓	広東省疾病予防控制中心微生物検験所副主任技師 E型肝炎ウイルスの分子生物学的、疫学的研究	国立感染症研究所ウイルス第二部	李 天成 主任研究官
蔣 小華	東南大学附属中大医院普外科主治医師 腹腔鏡下胃切除におけるナビゲーションサージェリー	財団法人癌研究会有病病院消化器センター消化器外科	比企直樹 医長
卞 琦	中国人民解放军第二军医大学第一附属医院腫瘍科主治医師 膀胱癌細胞の薬剤耐性の分子機構	金沢医科大学腫瘍内科学	元雄良治 教授
楊 雋	上海市第一人民医院血液科主治医師 白血病の標的治療	名古屋大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科学	直江知樹 教授
陳 雄	中国人民解放军南京军区福州总医院腫瘍科主治医師 ガンキリンによる癌化機構の解析	京都大学大学院医学研究科分子病診療学	藤田 潤 教授
王 泳	上海市第一人民医院移植泌尿科主治医師 血液型不適合腎移植及び既存抗体陽性腎移植の拒絶反応予防と治療の研究	大阪大学大学院医学系研究科先端移植基盤医療学	高原史郎 教授
廖 曉艶	南方医科大学南方医院護理部主管護師 認知症高齢者の徘徊パターンの解明	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻看護学	牧本清子 教授
王 慰敏	西安交通大学医学院第一附属医院産科主治医師 新規技術を用いた子宮頸癌スクリーニングの検討	近畿大学医学部産科婦人科学	星合 昊 主任教授
劉 穎	中日友好医院急診科護師 Narrative Based Medicine の臨床看護学への応用	大阪産業大学人間環境学部文化コミュニケーション学科	中川 晶 教授
方 楽	吉林大学中日聯誼医院神経内科主治医師 AQP4遺伝子の多型とNNO/MSとの関係性	九州大学大学院医学研究院附属脳神経病研究施設神経内科学	吉良潤一 教授

監査報告書

2009年4月1日より2010年3月31日
までの事業について、記録に基づき監査いたしました。

その結果、当期に実施した事業が寄付行為に基づいて適正に行われたことを確認しました。

2010年 5月 6日

監 事 金 井 浄 (印)
公認会計士

監 事 杉 本 恒 明 (印)

2009年度事業報告
財団法人日中医学協会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-3
住泉KMビル6階
TEL 03-5829-9123
FAX 03-3866-9080
発行日 2010年6月
発行人 安達 勇